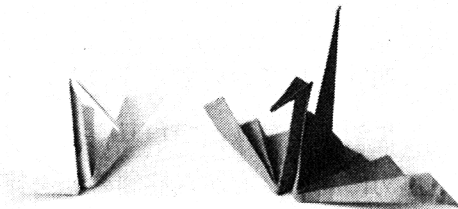


目 次

歳時記	1	8. 金融	23
新年のあいさつ	2	9. 物価	24
統計の窓	4	10. 経 済	25
流通面からも農業県	6	11. 消費生活相談	25
喫煙室	12	12. 家 計	26
指 標		13. レジャー	28
1. 主要指標	14	14. 保健相談	28
2. 人 口	16	15. 交通事故	29
3. 労 働	18	16. 交通事故保障相談	29
4. 農 業	20	17. 犯 罪	30
5. 鉱工業	21	18. 火 災	30
6. 建 築	22	刊行物のお知らせ	31
7. 電 力	22	伝 言 板	32

利 用 上 の 注 意

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入 | 2 「年」は暦年、「年度」は4月から翌年の3月まで |
| 3 記 号 | |
| — 零または該当数字のないもの | r 訂正数字 |
| 0 該当数字が掲載単位未満のもの | △ 減少または出超 |
| … 不詳のもの | x 秘密保持のため掲載をひかえたもの |
| p 暫定数字 | |



1月4日は御用始め。

正常の仕事のペースに戻るまでには、まだまだ時間がかかりそうです。松の内には無理でしょうか。

今月のおもな行事

- 4日 御用始め

- 19日 水戸市統計大会（水戸市）
- 20日 労働力調査特別研修会（東京都）
- 27日 経営研究会・刊行物研究会（東京都）
- 31日 県民所得統計主管課長会議（東京都）

●新年のあいさつ

新年にあたって

茨城県知事
茨城県統計協会総裁

竹内藤男



明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、つね日ごろ県政に対する皆さまの御理解ある御協力に対し、心から感謝の念を捧げるものでございます。

私は、「対話と参加による県政」を政治理念に知事に就任してから、3回目の正月を迎えました。

この間、積極的に県内各地を訪れ、各界各層の方々とひざつき合わせて話し合いを行い、皆さま方の県政に対する要望をお聞きしてまいりました。そして、一昨年秋には県民の皆さまの英知を結集して「茨城県民福祉基本計画“真の豊かさを求めて”」を策定し、茨城県政の方向をお示しするとともに、以後、その実施に当たりましても各地で県民集会を開催し、皆さま方とともに、その早期実現に努力しているところであります。

とくに、本年は福祉基本計画の施策展開の中間年次に当たり、所期の目標を達成するための重要な年でありますので、この計画の実施過程において基礎指標となる統計の効用に多大の期待を寄せているものであります。

依然として厳しい財政状況ではありますが、効率的な財政運営の下になお一層の情熱と勇気をもって諸施策を推進し、240万県民の信託に応えてまいる所存でございますので、皆さまには正しく、信頼され、しかも親まれる統計作成のためその使命を十分自覚され、さらに研さんに努められるとともに、旧年に倍して一層の御鞭撻と御協力を賜われますようお願い申し上げます。

終りに、皆さま方のますますの御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ新年のあいさつと致します。

昭和53年 元旦

年 頭 の 辞

全国統計協会連合会長

有 沢 広 巳

新しい年を迎えまして、おめでとうございます。

皆さまそれぞれに佳き新春をお迎えることと存じ、心からお喜び申し上げます。

年はあらたまりましたが、不況の深刻化のほかに、円高の打撃が加わって、恐慌前夜の感を呈しております。

このような世情不安の中に毎日を送る国民に、昭和53年はぜひとも平穏な年であってほしいと念願して止まないものであります。



また、政府がそれを防止し景気浮揚対策を打ち出そうとしており、われわれは政府の勇断で、是非ともこの危機を乗り切るよう切望しております。

世の中は、このように大変な事態ではありますが、経済の変動の中にあっても、国家は存立しており、その国家存立に必要な仕事は冷静になし続けなければなりません。

われわれ統計人は、かつての大戦中における英国民が合言葉とした「ビジネス・アズ・ユー・ジュアラル」と、平然として仕事に励んだあの高貴な精神を見習い、われわれの任務を果さなければなりません。

ここ数年来、統計をとりまく環境は、悪化の傾向にあります。陽光に輝く新春こそ、志をたて、決意を新たにすにふさわしい時であります。

この時に当たり、われわれは、われわれに課せられた仕事に対し、情熱と純真さをもって、もろもろの困難を克服するための一層の献身が、それぞれの心に誓わされることを、同時に皆さま方の御健康を心から祈念して、御挨拶といたします。

昭和53年 元旦

統計業務で得たもの

昨年3月まで、2年近くの間、行政管理庁の統計基準部門に勤務した。

とは云っても、国際統計課勤務であり、同課の所掌業務の主体は、国連本部、エスキャップ、OECD等の国際機関の統計部局に対するわが国の窓口業務であるため、統計の作成及びその加工の過程に直接タッチすることは少なかった訳であるが、勤務期間を通じて多くの統計に触れることができ、種々啓発されるところがあった。

自衛官を除く国家公務員約90万人のうちで統計関係職員は約1万4千人、約300万人の地方公務員のうちで統計関係職員は約1万人とみられているので、統計の業務に従事する機会は意外と少ない訳であるので、私にとっては、この2年近くの間経験はまことに貴重なものであったと考えている。

統計基準部門勤務を通じて私が啓発されたことの第1は、「統計表を見ることの楽しさ」である。

統計表は一見したところ数字が羅列されているだけであり、慣れないうちは取っ付き難い感じが先立つが、その意味する内容は実に豊かであり、興味尽きないものがある。

例えば、国連本部の統計局が編集した世界統計年鑑には、150を超える世界中の国々について200余りの項目の統計表が詰め込まれているが、この年鑑を眺めているとわが国の現状が浮き彫りにされてくるような感じがして来る。つまり、150余りの国々の中で第50位くらいの国土面積に、世界第5位の人口が生活し、乏しい天然資源にも拘らず、世界第3位の鉄鋼生産高を挙げ、世界第2位の自動車生産台数を示し、世界第1位のテレビジョン生産数を記録しているわが国の現状が、この年鑑に生々しく表われているのである。

このほか、この年鑑を見ていると、いろいろ面白いことが発見できる。例えば、ヨーロッパ諸国の多くで、わが国と同様な人口の都市集中化現象が起っていたり、ネパールの会計年度が7月16日から翌年の7月15日までだったりする。恐らく、ネパール国における国家的記念日が区切りとなっているのであろう。又、この年鑑によって考えさせられることも多い。例えば、平均寿命が男女とも70歳を超えて世界最高水準に達したわが国に対し、特定の地域では今でも平均寿命が30歳台の国が多数存在することを、この年鑑は告げている。稀には、平均寿命が20歳台の国すらも存在している。これらは、0歳から5歳までの乳幼児期の死亡率が異常に高いためであり、成人後の寿命は他の国々と大差ないであろうと推察されるが、いづれにしても衛生状態の早急な改善と、そのための先進国の役割の重要さが痛感されるところである。

私が啓発されたことの第2は、「他との比較でものを考えることの重要性」である。

統計は、それぞれの分野の実態を示すだけでなく、例えば国民所得の推計のように、他の多くの統計と組み合わせ分析されることが多い。そのためには、例えば産業等の経済活動について共通の分類体系が必要であり、それらの基準を統計基準部門が管理することによって統計の比較可能性が維持されている。

現在、私は郵政省を担当しているが、その第1の業務である郵便事業は、「全国津々浦々の」郵便局を通じて国民と結びついているといわれている。この「全国津々浦々の」という言葉は、抽象的であいまいな表現ではあるが、実に理解し易い言葉であって、「郵便局は国民に不便をかけないように、十分に設置されていますよ」というニュアンスが、よく伝わって来る。これを「郵便局は全国に22,138局設置

．．．．中 平 一 郎

されており、うち集配業務を行っているのは、5,752局である」と書き直すと、正確な記述ではあっても、郵便局が十分設置されているのか、または不足しているのか、かえって解りにくくなってしまいます。しかし、更に一步進んで、郵便局数は全国の小学校数とほぼ等しく、集配局数は全国の高等学校数とほぼ見合うことに気付けば、郵便局は全般的には充足されており、一方、集配業務は適当な地域がまとめて処理され、能率化が図られていることが納得されよう。

私が啓発されたことの第3は、「統計と自分のつながり」についてである。

統計に親しみがわいて来ると、統計と自分とが他人ではないことが実感を持って感じられるようになる。つまり、統計表を客観的に眺める以前に、自分自身が社会的・経済

的存在として、人口統計や物価統計にとけ込んで、統計の一部となっていると感じられるようになるのである。

このように、仕事が自分とつながりのあるものとして感じられることは、大切なことであろう。幸いにも私が担当している郵政省の業務は、郵便以外にも、貯金・電話・電報など国民の一人一人と密接につながっているものが多い。これらの業務を監察対象として客観的に眺める以前に、自分もその中に融け込んでいるものとして、親しみを持って接していきたいと、私は考えている。

統計業務にたずさわった2年間を思い返してみると、随分多くの方々に、多くの事柄を教えていただいたものと感謝の念で一杯である。今後とも統計の心を忘れずに仕事を続けていく決心である。(行政管理庁行政監察局監察官)



流通面からも農業県

一茨城県農産物流通調査一

農畜産物は、生産者と消費者を結ぶ流通過程のなかで価格の形成される割合が大きく、生産者には販売価格として、消費者には購入価格として直接流通機構が反映する。従ってその流通過程をどういう業態が担い、どういう構造で組立てられているかその実態を明らかにすることは極めて重要である。

この報告書は農畜産物16品目について、農協、市場等の7業態について全数調査をしたものである。しかし農畜産物は生産単位が零細で生産者の数が非常に多いのに消

費単位も零細分散しており、この両者を結ぶ流通機構は複雑であり、この全容を把握することは難しい。

調査結果の大きな特徴は、生産者からの第一次入荷が圧倒的に多く、県外入荷量より県外出荷量が多いことから本県は流通の面からも農産物の生産県といえること、野菜類では農協、市場の、畜産類では家畜商の流通業態に占める割合の大きいことの二点があげられよう。

各品目別の入出荷動向は次のとおりである。

表-1 品目別、年次別取扱数量表（総合）

品目名(単位)	仕 入			出 荷		
	48年	51年	増減率	48年	51年	増減率
きゅうり(トン)	67,097	43,761	△ 34.8	67,097	43,100	△ 35.8
けっきゅうはくさい(トン)	317,231	295,359	△ 6.9	317,231	294,402	△ 7.2
キャベツ(トン)	74,431	70,784	△ 4.9	74,431	70,344	△ 5.5
ねぎ(トン)	37,878	19,708	△ 48.0	37,878	19,719	△ 48.0
トマト(加工用を除く)(トン)	118,069	63,637	△ 46.1	118,069	63,752	△ 46.0
いちご(トン)	22,828	13,878	△ 39.2	22,828	13,830	△ 39.4
すいか(トン)	134,136	104,572	△ 22.1	134,136	104,272	△ 22.3
くり(トン)	19,216	16,103	△ 16.2	19,216	15,902	△ 17.3
なし(トン)	88,256	94,605	7.2	88,256	94,555	7.1
生しいたけ(トン)	26,769	10,040	△ 62.5	26,769	10,039	△ 62.5
キク(切花のみ)(束)	187,017	497,067	165.8	187,017	497,170	165.8
グラジオラス(球根)(kg)	984,853	1,630,946	65.6	984,853	1,605,508	63.0
鶏卵(トン)	62,245	44,060	△ 29.2	62,245	43,688	△ 29.8
ブロイラー(生体)(羽)	6,818,531	10,436,201	53.1	6,818,531	10,401,701	52.6
肉用子牛(生体)(頭)	61,134	34,566	△ 43.5	61,134	30,642	△ 49.9
豚(生体)(頭)	1,138,576	1,285,472	12.9	1,138,576	1,272,099	11.7

1 きゅうり

調査事業体における取扱数量は、48年の67,097トンから51年は43,761トンへ大きく減少した。

(生産量で比較すると、48年の50,100トンが、51年の46,800トンに減少している)

これを業態別の取扱で見ると、市場が最も多く20,314

トンで約半数を取扱い、次いで農協、組合団体、仲買の順となっている。この傾向は前回(48年)調査時とほぼ同じではあるが、卸売業がわずかに落ちこんでいる。

さらにこの業態別取扱数量を、県内、県外別の構成比で見ると、県内からの仕入39,683トンは、市場が47.1%を取扱い、次いで農協の22.7%、組合団体の14.3%となっており、県外からの仕入4,078トンも市場が39.4%を占

め、次いで仲買が30.2%、卸売の19.9%となっている。一方出荷をみると、県内への出荷量23,277トン市場が75.3%を取扱い、次いで組合団体が9.9%で、県外への出荷量19,823トンは農協が40.9%、仲買が19.0%、組合団体が18.9%を取扱っている。

2 けつきゅうはくさい

調査事業体における取扱数量は、48年の317,231トンから51年は295,359トンへわずかに減少した。

(生産量で比較すると、48年は336,600トンであり、51年は334,600トンである)

これを業態別取扱でみると、市場が最も多く102,329トンで総量の34.6%、以下農協、仲買、組合団体の順になっている。市場、農協の取扱に占める位置は前回調査時と同じく高いウエイトであるが、仲買が今回は大きく対前回比112.5%の増加を示し、農協が減少傾向を見せたのが特徴である。

この業態別取扱数量を、県内、県外別の構成比でみると、県内からの仕入284,579トンは、市場が34.7%を取扱い、次いで農協の24.8%、仲買の19.1%と続き、これは県外分を含めた傾向と全く同じである。県外からの仕入10,780トンでは、その55.8%が仲買が取扱い、市場は33.0%である。

県内への出荷133,485トンは、市場が41.0%を取扱い、農協の39.3%を合わせると80%がこの2業態に集中していることになる。県外への出荷160,917トンは、仲買がその36.1%を取扱い、けつきゅうはくさいの県外との入出荷流通では仲買が大きな役割をはたしていることがわかる。

3 キャベツ

調査事業体における取扱数量は、48年の74,431トンから51年は4.9%減少して、70,784トンである。

(生産量で比較すると、48年は34,000トンで、51年は10.9%の増加で37,700トンである。)

これを業態別取扱からみると市場が最も多く31,309トンで、全体の44.2%、次いで仲買の22,630トンで全体の32%になり、この2業態で全体の76%を取扱っている。これを前回調査時と比較すると、仲買が大きく伸び卸売

が落ちこんでいる。

この業態別取扱数量を県内、県外別の入出荷量でみると、仕入においては、県内外とも市場及び仲買が高いウエイトを占めている。一方出荷においては県内では市場が75.3%と多数の取扱量を占め、県外への出荷業態は仲買が60.0%で、市場は、わずか11.7%にすぎない。

4 ねぎ

調査事業体における取扱数量は、48年の37,878トンから、51年は19,708トンと、48%も減少した。

(生産量で比較すると、48年は33,900トンで、51年は28,500トンである。)

これを業態別の取扱でみると市場が8,812トンで最も多く、農協は6,549トンで、この2業態で全体の78%の数量を取扱っている。48年の取扱と比較すると、全般的に減少しているが、市場の減少率が62.3%と高くなっている。これは、後述するが、市場は生産者からの入荷割合が多いわけで、生産量が5,400トンの減少でしかないことからすると、生産者から県外の流通業体へ大量出荷されたと考える他はない。

この業態別取扱数量を県内、県外別の入出荷量からみると、県内からの仕入17,923トンの42.6%を市場が、36.5%を農協が占めている。県外からの仕入量1,785トンでは66.2%を市場が占めているが、卸売、仲買の3業態で100%を取扱っている。

出荷についてみると県内への出荷量10,233トンは、市場が72.3%と圧倒的に取扱い、県外出荷量9,486トンは農協が68.8%と大きな部分を占めている。

5 トマト(加工用を除く)

調査事業体における取扱数量は、48年の118,069トンから、51年は63,637トンに46%も減少した。

これを業態別取扱でみると、市場が26,731トンで最も多く、次いで農協の21,007トン、組合団体の10,439トンが続き、この3業態で全体の91%の数量を取扱っている。48年の取扱量と比較すると、全般的にどの業態も減少していることは勿論ではあるが、特に組合団体(出荷組合)において減少が著しい。

■ 調査から

この業態別取扱数量を県内、県外別に入出荷量からみると、県内からの仕入は、市場が40.7%、農協が34.3%を取扱っている。県外からの仕入では、市場が74.7%を取扱っているが、県外入荷量が絶対的に少いため、全体に及ぼす影響はない。出荷については、県内へは69.9%を市場が取扱い、県外へは44.6%を農協、27.4%を市場が取扱っている。

6 いちご

調査事業体における取扱数量は13,878トンで、48年と比較すると39.2%の減少である。業態の中で特に市場が41.3%の著しい減少を示している。しかし取扱数量に占める位置は、市場が全体の79.5%となっている。

業態別の取扱数量を県内、県外別に入出荷量からみると、商品の性格上かと思われるが県外との入出荷は非常に少なく、仕入においては92%が県内からであり、出荷においては87.5%が県内への流通である。

県内、県外とも仕入については市場の取扱がそれぞれ79.0%、84.3%と圧倒的である。出荷については県内へは市場が90.1%を取扱っている。県外へは農協が60.3%、卸売が20.0%出荷しているが、前述のようにその数量は少ない。

7 すいか

調査事業体における取扱数量は104,572トンで、48年の134,136トンから22.1%の減少である。

(生産量で比較すると、48年は130,100トン、51年は90,400トンで30.5%の生産減である)

これを業態別にみると、48年の形態と異ってきた。流通の主体である(農協、市場)と(組合団体、卸売、仲買)の取扱量を比較すると、48年は7対3であったものが、51年には5.5対4.5と前者の位置が低下してきた。

仕入、出荷の県内、県外別をみると数年県内からの入荷量が圧倒的多数を占め続けている。県内からの仕入量101,353トンのうち、75.7%に当たる76,699トンは生産者からの入荷である。出荷のうち61.3%が県外である事と考え合わせると、本県は、すいかの生産圏といえる。

県内外別に業態別取扱形態をみると県内仕入では農協

が32.0%を取扱い、この入荷先は生産者及び組合団体からである。組合団体は26.5%を取扱っているが、この団体は生産者が自から組織している出荷組合のことである。

県外仕入はその数量が3,219トンとわずかであるが、市場がその60.6%を取扱い、県外の生産者からがほとんどの入荷である。

8 くり

調査事業体における取扱数量は16,103トンである。農協の取扱が48年と比べると80%も極端に減少している。が全体では16.2%の減少である。

(生産量からみると48年の10,900トンに対し、51年は8,400トンである)

これを取扱業態別にみると、市場が全体の56%、仲買が18%、卸売が17%の取扱になっている。

仕入先、出荷先を県内、県外別にみるとほぼ100%県内からの入荷である。出荷は45年、48年、51年と県外への出荷割合は低下している。

これを県内、県外別にその取扱業態の構成をみると、県内からの仕入数は15,961トンで、この56%は市場の取扱である。県内からの仕入数のうち13,775トン(86.3%)は、生産者からの入荷となっている。

9 なし

調査事業体における取扱数量は94,605トンである。48年と比較すると7.2%、6,349トンの増加となった。

(生産量からみると48年は45,500トン、51年は48,000トンである)

これを業態別にその取扱量をみると市場が全体の55.8%を取扱い、組合団体の20.7%、農協の15.6%を合わせると、なしの取扱はこの3業態で92%にのぼる。

48年の取扱状況と比較すると、この3業態のウェイトの高さは変わらないが、市場が高い取扱率を占め、農協及び組合団体の低下が目立つ現象である。

県内、県外別に入出荷をみると、仕入は県内からが89,984トンで仕入量の95.1%になり、県外からは4,621トンで4.9%にすぎない。県内からの仕入は86.4%が生産者からの

調査から

入荷である。出荷は県内へ62,684トンで出荷量の66.3%に当り、県外へは31,871トンで33.7%である。県外出荷率は48年以來減少し続けている。

10 生しいたけ

調査事業体における取扱数量は10,040トンである。48年調査に比べると16,729トン、62.5%も減少している。

業態別にその取扱量をみると(表-2)市場が全体の80%を取扱い、農協の10%を合わせると、生しいたけの

取扱は、この2業態で90%を超える。

48年の取扱状況と比較すると、各業態とも大巾な減少がみられるが、特に市場の14,268トンの減少が著しい。

県内、県外別に入出荷をみると、仕入は県内からが9,992トンで仕入量の99.5%になり、県外からはわずか48トン、0.5%にすぎない。県内からの仕入は92.6%が生産者からの入荷である。出荷は県内へ8,254トンで出荷量の82.2%に当り、県外へは1,785トンで17.8%であるが、調査ごとに県外出荷率は高くなっている。

表-2 業態別取扱数量(生しいたけ) 単位:トン

業態	仕入			出荷		
	48年	51年	増減率	48年	51年	増減率
農協	1,756	1,020	△ 41.9	1,756	1,020	△ 41.9
市場	22,329	8,061	△ 63.9	22,329	8,062	△ 63.9
組合団体	394	336	△ 14.7	394	336	△ 14.7
卸売	844	222	△ 73.7	844	220	△ 73.9
仲買	1,081	389	△ 64.0	1,081	389	△ 64.0
仲立	365	12	△ 96.7	365	12	△ 96.7
計	26,769	10,040	△ 62.5	26,769	10,039	△ 62.5

11 キク(切花のみ)

調査事業体の取扱数量は497,067束(1束=100本)である。48年に比べると、310,050束(165.8%)も増加している。

(51年の生産量は、34,200千本である)

これを業態別の取扱数量をみると(表-3)、市場の取扱が急増しているのが目立つ。が組合団体は全体の67.

2%、市場は全体の28.8%でこの両者で96%の取扱いを占める。

県内、県外別に入出荷をみると、仕入は県内からが417,135束で仕入量の83.9%になり、県外からは79,932束、16.1%の入荷である。この県内入荷量の97.4%は生産者からの入荷である。出荷は県内へ220,851束で44.4%、県外へ276,319束で55.6%である。これらからみて本県はキクの生産圏といえよう。

表-3 業態別取扱数量(キク) 単位:束(1束=100本)

業態	仕入			出荷		
	48年	51年	増減率	48年	51年	増減率
農協	17,812	19,754	10.9	17,812	19,754	10.9
市場	2,500	143,378	5,635.1	2,500	143,481	5,639.2
組合団体	166,705	333,815	100.2	166,705	333,815	100.2
卸売	-	120	-	-	120	-
計	187,017	497,067	165.8	187,017	497,170	165.8

■調査から

12 グラジオラス（球根のみ）

調査事業体における取扱数量は1,630,946kgである。48年に比べると65.6%（646,093kg）の増加である。

これを業態別に取扱数量をみると（表-4）、卸売、組合団体、農協の3業態に限定されており、この中で卸売が全体の67%、組合団体が31.7%を占めている。

県内、県外別に入出荷をみると、仕入は県内からが1,442,946kgで仕入量の88.5%になり、県外からは188,000kgで11.5%に当る。卸売は主に組合団体からの入荷であり、組合団体は生産者からの入荷である。出荷は県内へが584,770kgで出荷量の36.4%になり、県外へは1,020,738kgで同じく63.6%になる。卸売は主に県外代理商への出荷であり、組合団体は仲買への出荷である。

表-4 業態別取扱数量(グラジオラス) 単位: kg

業 態	仕 入			出 荷		
	48年	51年	増 減 率	48年	51年	増 減 率
農 協	65,031	20,426	△ 68.6	65,031	20,426	△ 68.6
市 場	—	—	—	—	—	—
組 合 団 体	230,822	517,020	124.0	230,822	517,020	124.0
卸 売	689,000	1,093,500	58.7	689,000	1,068,062	55.0
計	984,853	1,630,946	65.6	984,853	1,605,508	63.0

13 鶏 卵

調査事業体における取扱数量は44,060トンである。これは48年と比べると18,185トン(29.2%)の減少である。

これを業態別にみると、家畜商の取扱が最も多く全体の35.7%で、次いで卸売が同じく29%の取扱いを占めている。48年との比較では卸売の減少が大きく、家畜商の増加が大きい。

県内、県外別に流通状況を見ると、仕入では県内からの入荷が40,452トンで全体の91.8%になり、県外からの入荷は3,608トンで同じく8.2%である。これを業態別に取扱の構成でみると、県内からの入荷を取扱う業態は、家畜商が37.4%、卸売が25.5%、農協が23.6%等である。県外からの入荷を取扱う業態は、卸売が68.5%、家畜商が16.3%、仲買が15.2%である。

出荷については県内へは31,751トンで全体の72.7%になり、県外への出荷は11,937トンで同じく27.3%である。これを業態別に取扱の構成でみると、県内への出荷を取扱う業態は、家畜商が46%、農協が21.8%、卸売が18.8%等である。県外への出荷を取扱う業態は、卸売が54.2%、農協が21.9%、組合全体が10.3%等である。

14 プ ロ イ ラ ー

この品目の調査はと体での流通ではなく、生体での流通に限定している。

調査事業体における取扱数量は、10,436,201羽である。48年と比較すると3,617,670羽、53%の増加である。

これを業態別の取扱量からみると（表-5）、家畜商が全体の40%を、農協が同じく39%を扱っている。

流通を県内、県外の面からみると、仕入については県内からの入荷は約6,200千羽で59.4%に当り、県外からの入荷は約4,235千羽で40.6%である。これらの取扱業態は県内からの入荷については農協が65.5%を取扱い、卸売が17.7%を取扱っている。県外からの入荷については家畜商が74.6%を取扱い、卸売が24.3%を取扱っている。

出荷については県内への出荷は約4,860千羽で46.7%に当り、県外への出荷は約5,540千羽で、53.3%である。これらの取扱業態は県内への出荷については農協が74.2%を取扱い、卸売が13.4%を取扱っている。県外への出荷については家畜商が64.4%を取扱い、卸売が26.7%を取扱っている。

表-5 業態別取扱数量(ブロイラー) 単位：羽

業 態	仕 入			出 荷		
	48 年	51 年	増減率	48 年	51 年	増減率
農 協	4,998,518	4,059,895	△18.8	4,998,518	4,056,895	△18.8
組 合 団 体	44,000	67,176	52.7	44,000	67,176	52.7
家 畜 商	1,776,013	4,182,219	135.5	1,776,013	4,146,219	133.5
卸 売 業	—	2,126,911	—	—	2,131,411	—
計	6,818,531	10,436,201	53.1	6,818,531	10,401,701	52.6

15 肉用子牛（生後8ヵ月未満）

この品目についてもと体ではなく、生体での流通調査である。統計表においては“和牛”、“肉用雄牛”を別に表章しているが、概要では肉用子牛として両方を合算して扱う。

調査事業体における取扱数量は34,566頭である。48年と比較すると26,568頭（43.5%）の減少である。

これを業態別の取扱数量からみると、家畜商の取扱が多く全体の61%になる。この数量は家畜商が子牛としての売買を目的としたもので自ら飼育するものは含まれていない。

県内、県外別に入出荷の状況を見ると、県内からの仕入は29,483頭で入荷量の85.3%を、県外からの仕入は5,083頭で同じく14.7%になる。この取扱業態は県内物では家畜商はその57.3%を、県外物では家畜商が85.5%を取扱っている。

県内への出荷は22,310頭で出荷量の72.8%を、県外への出荷は8,332頭で同じく27.2%になる。この取扱業態は県内物では家畜商がその46%を、組合団体が同じく32%を取扱い、県外物は家畜商が84.7%を取扱っている。

16 豚

この品目についてもと体ではなく生体での流通に限定した。なお統計表においては“肉豚”と“3ヶ月未満の子豚”を別に表章しているが、ここでは豚として扱う。

調査事業体における取扱数量は1,285,472頭である。48年と比較すると146,896頭（12.9%）の増加である。

これを業態別の取扱数量からみると、家畜商が全体の58%の取扱で最も多く、次いで農協が同じく36%である。

県内、県外別に入出荷の状況を見ると、県内からの入荷は1,123,707頭で入荷量の87.4%になり、県外からの入荷は161,765頭で同じく12.6%である。これらの取扱業態は県内物では家畜商はその56%を、農協がその40%を取扱い、両者で96%を占めている。県外入荷物はその73%を家畜商が取扱っている。

県内への出荷は1,005,196頭で出荷量の79%に当り、県外への出荷は266,903頭で同じく21%に当る。これらの取扱業態は県内物では家畜商がその49%を、農協がその45%を取扱っている。県外物では家畜商が95%を取扱っている。

（県統計課 農林統計課

舌をかまずに

「統計」といいますと、すぐに数字を思い浮べてしまい、数字嫌いの人からいやがられてしまうのですが、事実、統計と数字とは切っても切れない関係にあります。統計表といえ、3桁ごとにくぎられた数字の羅列が目には浮んできません。

ところで、外国では数字を3桁ごとにくぎって数えていくのに対し、日本では4桁ごとにくぎって数えるという違いがあることはよく知られています。そこで今回はその点についてみてみましょう。まず表一をみてください。

表一 1

1	one	一
10	ten	十
100	hundred	百
1,000	thousand	千
10,000	ten thousand	万
100,000	hundred thousand	十万
1,000,000	million	百万
10,000,000	ten million	千万
100,000,000	hundred million	億
1,000,000,000	billion	十億
10,000,000,000	ten billion	百億
100,000,000,000	hundred billion	千億
1,000,000,000,000	trillion	兆

われわれにおなじみなのは、日本語でしたら兆、外国語では billion 程度まででしょう。

百万長者のことを英語で millionaire といいますが、最近のインフレで、この程度ではまだまだ、なんといっても億万長者 (billionaire) にならなくては金持ちではなくなりませんでした。

さて、それでは兆 (trillion) 以上の桁になった場合、どういうふうに表示するのでしょうか。表二をみてください。

表一 2

10 ¹⁵ =	1,000,000,000,000,000	quadrillion	千兆
10 ¹⁶ =	10,000,000,000,000,000	tenquadrillion	京 (けい)
10 ¹⁸ =	1,000,000,000,000,000,000	quintillion	百京

以下

3桁ごと

4桁ごと

sextillion

垓 (がい)

septillion

杼 (じょ)

octillion

穰 (じょう)

溝 (こう)

澗 (かん)

正 (せい)

載 (さい)

極 (ごく)

恒河沙 (こうがしゃ)

阿曾祇 (あそうぎ)

那由他 (なゆた)

不可思議 (ふかしぎ)

無量大数 (むりょうたいすう)

どこまで知っていましたか。日本語での名称は、すべて仏教の中からとられています。

それにしても、日本語にしろ外国語であるにしろ、ずい分と面倒なものです。なんといっても数字で表わす簡潔さには歯がたちません。

インドで発見されたという「0」、これを応用できたか否かの差は大きいといわざるをえません。

では、表一3に1より小さい小数に対する読み方をあげますので、任意に数を考えていろいろと読み方を考えてみてください。舌をかまずにできればたいしたものです。

表一 3

0.1	分 (ふん)
0.01	厘 (り)
0.001	毫 (ごう)
0.0001	絲 (し)
0.00001	忽 (こつ)
0.000001	微 (び)
0.0000001	纖 (せん)
0.00000001	沙 (しゃ)
0.000000001	塵 (じん)
0.0000000001	埃 (あい)

(伊藤)

夢を登る (2)

ーガルワール・ヒマラヤ遠征隊ー

今日から、現地人80人をポーターに雇い6日をかけてBC (ベース・キャンプ) までのキャラバンが始まる。

カール峠に出て、ヒマラヤの高峰が目飛びこんでくる。緑深き山々の上にそれは白く輝いていた。会おう人々に「ナマステ」とあいさつする。子供も大人も一瞬キョトンとし、すぐに「ナマステ」と答えニコッと笑う。通じたうれしさから、老若男女かまわず次から次へとナマステの連発。果ては遠く畑仕事に忙しい人にまで大声で「オーイ。ナ・マ・ス・テ！」とばかりに。

ロハルケットに着く。早速抜ける様な青い空の下、水浴と洗濯をする。幸福を感じながら、水牛の様に喜々として……。サッパリした気分で、キャラバンの最終到着を待つもなかなか来ない。そして、それは事故の報告とともにやってきた。他の谷出身の2人のポーターが4人の隊員の個人装備の一部(寝袋・セーター・下着・帽子、そして大切な酒やタバコまで)を盗みドロロンしてしまったのである。幸い、隊から何とか補充し、登山には支障をきたさなかったが、結局盗難品は戻らなかった。のちに掘り出し物として出廻るのではないかと思う。

2日目、ダクリ峠(2,505m)。午過ぎに着いたため、素晴らしいヒマラヤの展望は、帰りのキャラバンまでお預けとなった)を越え、マリの小学校(と言っても、机も何もなくガランとしていた)の庭にキャンプを張り、3日目、ワッチェンブリッジまで急降下し、逆に対岸を急登し、スングル・ドゥンガ河の右岸を高巻きの上下運動をしながら進む。ガルワール・ヒマラヤは、緑が多く日本の山に似ている一人で歩いていると日本の山を歩いている錯覚におちいってしまいそうである。しかし、産物は乏しく、青物といえば大きなキューリ(現地語でキーラ)のみで、キーラにこまやかな神経を示す私にとってははなはだ喜ばしくなかった。動物性タンパク源は、村々で買った羊のみである。現地食主体のメニューゆえ慣れるまで体重が軽くなっていったが、3日目の最終部落のジャトリに着いたころは、天性の順応性が発揮され食欲おう盛、体調はすこぶる良かった。大勢の人間がやってきたのが珍しいのであろう。大人も子供も我々に強い関心をもって見ている。身なりはみすばらしいが、瞳はヒマラヤの空の様に澄んでいる。カ

メラを向けると、インドのいづれとも同じく集まってくる。

4日目のドゥンガ・ダングを過ぎるとルートはスングル・ドゥンガの谷を歩く。いたる所の外壁から素晴らしい滝となって雪融け水が落ちている。正面にはマイクトリ(6,803m)の稜線が白く輝いている。スングル・ドゥンガ(3,200m)に着く。すぐに裏手の峠に向け高度順応のために3,600mまで登る。体調は良い。我々の隊には、高所医学研究のために隊付きのドクターが2人同行していた。我々も研究の一助をなすためキャラバンの初日から登山活動を通じ、帰りのキャラバン終了まで毎朝・行動中・毎夕と個人検診(自覚症状・体重・呼吸数・脈搏・血圧・体温など)をやり翌朝ドクターに提出していた。又協力者のみではあったが、排泄物の測定のため、常に尿カップをザックのサイドにつるし、バネ秤をザックにしはばせていた。バネ秤片手にヤブを分け入る姿やカップを見つめつつ、「今回は、〇〇cc出た。調子いいぞ！」などと言いつついる姿を、ポーター達は変な人種とばかりに我々を見ていたのではなかろうか。しかし我々は体調をチェックしつつ、タルコットの頂上へと歩を進めて行った。

キャラバン6日目。スキヤラム氷河に向け高度を上げて行く。パンツまで濡らしての渡渉も過ぎ、大きな岩壁の陰に着く。BC(3,800m)である。タルコットはガスのあい間に姿を現わす。非常に遠くに見え、一週間で落とせるだろうかと不安をもつ。ポーター達は、賃金(18ルピー。1ルピー≒30円)をもらい大声を上げて引き上げて行く。明日から、本格的な登山活動が始まるのである。



ベース・キャンプ設営にいそがしい (桧山)

1 主 要

茨 城 県

年 月	世 帯 と 人 口			金 融 機 関 預 貸 金 (増 減)		手 形 交 換 高		百 貨 店	鉱 工 業
	世 帯	人 口	人 口 増 加 率 %	実 質 預 金 億 円	貸 出 金 円	枚 数 千枚	金 額 百万円	売 上 高 百万円	生 産 指 数 (産 業 総 合) 昭45年=100
昭和49年	568 243	2 294 443	19.52	2 172	1 398	1 537	1 065 008	34 915	202.8
50	590 131	2 342 198	16.68	3 385	1 472	1 618	1 127 165	41 237	201.2
51	602 414	2 378 220	15.39	3 639	1 626	2 028	1 405 144	46 418	225.6
51.11	603 315	2 381 016	1.39	657	6	218	140 063	3 819	224.7
12	604 195	2 384 316	1.32	948	524	253	174 315	6 601	235.9
52.1	604 857	2 387 470	1.10	△ 659	△ 140	182	141 675	3 939	213.7
2	605 532	2 390 093	0.96	△ 117	173	193	128 322	2 944	230.8
3	606 248	2 392 386	△1.08	850	258	214	149 342	4 145	250.7
4	606 220	2 389 793	3.04	△ 276	29	208	150 493	3 701	239.5
5	610 827	2 397 055	2.20	409	△ 141	211	145 910	3 580	231.9
6	612 552	2 402 322	1.30	678	260	212	159 667	3 970	239.7
7	612 927	2 405 447	1.08	226	317	203	133 568	4 542	251.7
8	613 361	2 408 045	1.87	△ 2	5	230	153 781	3 503	242.4
9	614 208	2 412 550	1.26	797	356	205	143 206	3 364	244.1
10	614 850	2 415 580	...	△ 97	152	210	145 435	3 960	229.4
資 料	県 統 計 課			日 本 銀 行 水 戸 事 務 所					

全 国

年 月	人 口		銀 行 券 発 行 高	全 国 銀 行 勘 定		手 形 交 換 高		百 貨 店	鉱 工 業
	人 口 千人	人 口 増 加 率 %		実 質 預 金	貸 出 金	枚 数 千枚	金 額 億 円	売 上 高 億 円	生 産 指 数 (産 業 総 合) 昭45年=100
			億 円 (年 月 末)						
昭和49年	110 049	12.32	116 678	748 631	796 139	413 253	6 639 385	36 820	126.4
50	111 937	17.15	126 171	855 129	887 672	407 201	7 530 833	40 651	110.5
51	113 086	10.26	140 200	969 248	986 722	419 296	8 178 295	44 085	p 125.3
51.10	113 086	0.87	113 559	926 631	959 782	32 084	644 576	3 688	127.3
11	113 184	0.77	116 004	952 088	964 698	36 840	715 008	3 726	130.4
12	113 272	0.26	140 200	969 248	986 722	43 806	857 376	7 004	130.3
52.1	113 301	1.16	120 364	949 787	987 146	30 412	669 507	3 064	130.7
2	113 432	0.48	123 404	953 326	992 906	32 609	647 998	2 899	128.4
3	113 486	0.68	123 583	990 486	1 007 132	36 333	791 793	3 886	131.2
4	113 563	0.61	123 304	985 781	1 002 656	34 882	762 860	3 487	132.3
5	113 633	1.20	117 222	1 009 357	1 005 136	35 163	712 782	3 379	129.6
6	113 769	0.80	126 318	1 016 185	1 018 593	35 391	756 514	3 451	131.4
7	113 860	...	127 901	1 012 934	1 032 424	35 520	701 545	4 936	128.8
8	122 588	1 017 656	1 033 949	37 842	797 336	3 174	r 130.3
9	121 512	1 040 131	1 044 744	34 329	804 555	3 147	130.9
資 料	総 理 府 統 計 局		日 本 銀 行 統 計 局				通 産 省		

(注) ※は年度数値。世帯と人口の各年の数値は10月1日現在。
 全国の産業用大口電力消費量は9電力会社の計。

指 標

茨 城 県

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	有 効 求人倍率	消 費 者 物 価 指 数 (水戸市)	家計消費支出 (水戸市 勤労者)	産 業 用 電 力 消 費 量 (50kW以上)	建 築 着 工		年 月
							工 事 費 定 額	床 面 積	
...	86.7	100.1	*1.46	89.5	142 806	* 3 149 395	358 695	5 639	昭和49年
166 470	100.0	100.0	*0.81	100.0	158 185	* 3 730 583	400 541	5 360	50
186 008	113.2	102.3	*1.04	109.1	177 776	* 4 454 759	389 268	5 520	51
150 179	91.8	102.4	1.13	112.0	186 415	367 176	29 903	395	51.11
431 781	263.9	102.4	1.00	112.7	306 153	369 319	35 247	497	12
146 584	89.6	102.4	1.01	115.4	203 149	348 824	31 828	386	52.1
145 322	88.8	102.2	0.98	115.4	167 418	381 729	34 461	487	2
156 141	95.4	102.2	1.00	115.6	219 020	385 586	34 398	456	3
151 501	92.6	103.7	0.98	118.1	180 177	408 663	48 724	617	4
155 388	95.0	103.1	0.95	118.7	162 708	407 974	40 399	491	5
321 580	196.6	103.2	0.88	118.0	203 185	372 668	31 761	410	6
230 755	141.0	103.6	0.85	118.3	225 345	385 800	30 548	460	7
155 805	95.2	103.4	0.89	118.4	184 605	373 824	8
157 711	96.4	103.6	0.97	120.4	168 825	386 947	9
158 518	96.9	103.3	0.95	122.3	...	415 079	10
県 統 計 課			県 職 業 安 定 課	県 統 計 課		東京電力 茨城支店	建 築 指 導 課		資 料

全 国

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	有 効 求人倍率	消 費 者 物 価 指 数	家計消費支出 (勤労者)	産 業 用 大 口 電 力 消 費 量	建 築 着 工		年 月
							工 事 費 定 額	床 面 積	
154 967	87.1	102.0	1.20	89.4	142 203	* 165 516	136 274	198 557	昭和49年
177 213	100.0	100.0	0.61	100.0	166 032	* 164 836	146 766	196 292	50
200 242	112.8	98.3	0.64	109.3	180 662	* 178 080	164 082	215 474	51
157 431	88.3	98.1	0.64	112.4	173 493	15 326	14 017	18 028	51.10
166 443	93.3	98.1	0.62	112.4	172 512	15 021	13 371	17 292	11
472 868	265.2	97.9	0.63	113.6	280 128	14 990	14 976	18 811	12
162 077	90.9	97.2	0.62	114.7	172 327	14 371	12 653	15 723	52.1
156 903	88.0	96.9	0.60	115.3	161 845	14 044	11 780	14 655	2
177 470	99.5	97.0	0.62	116.0	203 873	15 231	14 337	17 276	3
164 201	92.1	99.3	0.59	117.9	195 610	14 638	15 353	19 682	4
165 265	92.7	99.1	0.54	119.0	182 904	14 710	13 925	17 353	5
299 593	168.0	98.8	0.53	118.4	194 825	15 259	14 759	18 491	6
296 703	166.4	p 98.5	0.52	118.1	213 336	15 603	16 799	20 737	7
188 812	105.9	p 98.0	0.53	118.1	199 419	14 780	17 730	21 483	8
168 039	94.2	p 97.6	0.53	120.2	...	15 151	14 947	18 234	9
労 働 省				総 理 府 統 計 局		通 産 省	建 設 省		資 料

2 人 口

2-1 世帯、人口および人口移動

(単位：世帯、人)

年月日	世帯数	人 口			増減数	人 口 移 動				
		総 数	男	女		自 然 動 態		社 会 動 態		外 国 人 増 減
						出 生	死 亡	転 入	転 出	
49.10.1	568 243	2 294 443	1 135 458	1 158 985	44 794	42 619	16 897	134 347	115 127	△ 58
50.10.1	590 131	2 342 198	1 159 707	1 182 491	39 059	40 027	16 641	129 716	114 166	123
51.10.1	602 414	2 378 220	1 178 688	1 199 532	35 593	39 596	16 645	124 726	112 044	△ 40
51.12.1	604 195	2 384 316	1 182 070	1 202 246	3 300	3 304	1 452	9 264	7 835	19
52.1.1	604 857	2 387 470	1 183 618	1 203 852	3 154	3 308	1 504	9 396	7 986	△ 60
2.1	605 532	2 390 093	1 185 031	1 205 062	2 623	3 231	1 660	7 936	6 914	30
3.1	606 248	2 392 386	1 186 316	1 206 070	2 293	2 919	1 529	8 120	7 250	33
4.1	606 220	2 389 793	1 184 986	1 204 807	△ 2 593	3 131	1 578	17 731	21 874	△ 3
5.1	610 827	2 397 055	1 189 112	1 207 943	7 262	3 220	1 381	19 963	14 613	73
6.1	612 552	2 402 322	1 192 166	1 210 156	5 262	3 253	1 287	11 184	7 915	27
7.1	612 927	2 405 447	1 193 674	1 211 773	3 125	3 106	1 279	8 026	6 773	45
8.1	613 361	2 408 045	1 194 876	1 213 169	2 598	3 131	1 217	7 767	7 141	58
9.1	614 208	2 412 550	1 197 267	1 215 283	4 505	3 389	1 258	10 340	7 934	△ 32
10.1	614 850	2 415 580	1 198 814	1 216 766	3 030	3 419	1 174	7 908	7 128	5
11.1	615 745	2 418 693	1 200 531	1 218 162	3 113	3 391	1 290	8 926	7 978	64

(注) 人口移動のうち (1) 昭和49年～昭和51年については各年の年間数値を示す。

資料：県統計課

(2) 昭和51年～昭和52年の月別人口移動については前月の月間数値を示す。

昭和50年10月1日の世帯数、人口については、国勢調査の確定数である。

2-2 市町村別人口と世帯

(単位：人、世帯)

市町村	昭和50年 10月1日 人口総数	52年11月1日			市町村	昭和50年 10月1日 人口総数	52年11月1日		
		人口総数	人口増加	世帯数			人口総数	人口増加	世帯数
総 数	2 342 198	2 418 693	3 049	615 745	竜ヶ崎市	40 565	41 872	55	10 973
市 部	1 160 352	1 194 968	1 382	325 161	那珂湊市	33 147	33 191	△ 11	8 506
郡 部	1 181 846	1 223 725	1 667	290 584	下妻市	29 235	29 979	42	7 238
					水海道市	38 820	39 525	78	9 408
水戸市	197 953	205 980	480	63 356	常陸太田市	35 322	35 783	△ 29	9 185
日立市	202 383	202 473	△ 47	56 240	勝田市	79 996	84 620	134	22 265
土浦市	104 028	107 553	149	30 204	高萩市	30 982	31 583	17	8 702
古河市	55 973	55 764	△ 30	15 241	北茨城市	44 332	44 947	24	11 913
石岡市	43 679	45 706	127	12 283	笠間市	30 909	31 047	2	7 701
下館市	57 778	59 181	62	14 835	取手市	52 816	59 919	197	17 086
結城市	44 130	46 590	99	11 253	岩井市	38 304	39 255	33	8 772

市町村	昭和50年 12月1日 人口総数	52年11月1日			市町村	昭和50年 10月1日 人口総数	52年11月1日		
		人口総数	人口増加	世帯数			人口総数	人口増加	世帯数
東茨城郡	132 357	135 281	33	32 496	稲敷郡	126 952	134 692	271	32 571
常澄村	9 247	9 476	△ 5	2 088	江戸崎町	12 176	12 455	12	3 043
茨城町	30 574	31 587	△ 117	7 296	美浦村	8 161	8 409	13	1 959
小川町	17 251	17 638	46	4 180	阿見町	29 737	31 202	55	7 941
美野里村	17 159	18 129	37	4 329	牛久町	27 674	31 377	143	8 172
内原町	13 659	14 176	50	3 151	荃崎村	8 305	10 217	36	2 482
常北町	10 549	10 576	2	2 687	新利根村	8 591	8 641	7	1 907
桂村	6 896	6 853	4	1 758	河内村	11 657	11 591	△ 6	2 541
御前山村	5 356	5 250	△ 9	1 343	桜川村	7 866	7 905	7	1 789
大洗町	21 666	21 596	25	5 664	東村	12 785	12 895	4	2 737
西茨城郡	64 502	65 857	64	15 865	新治郡	92 758	100 644	199	23 309
友部町	24 146	25 140	48	6 232	出島村	17 152	17 361	△ 12	4 010
岩間町	15 012	15 199	15	3 672	玉里村	6 126	6 482	1	1 490
七会村	3 015	2 941	4	668	八郷町	27 483	27 660	7	6 082
岩瀬町	22 329	22 577	△ 3	5 293	千代田村	18 634	19 390	27	4 824
那珂郡	111 760	115 053	321	29 208	新治村	8 549	8 651	21	1 999
東海村	25 151	26 902	169	6 735	桜村	14 814	21 100	155	4 904
那珂町	34 213	35 968	121	9 228	筑波郡	91 789	95 835	196	22 419
瓜連町	7 117	7 097	18	1 707	谷田部町	22 225	23 332	90	5 562
大宮町	23 489	23 822	9	6 155	伊奈村	15 250	17 281	86	4 086
山方町	9 864	9 606	△ 3	2 495	谷和原村	10 152	10 276	19	2 256
美和村	6 151	6 020	—	1 436	豊里町	10 898	11 050	7	2 471
緒川村	5 775	5 638	7	1 452	筑波町	22 011	22 163	△ 9	5 250
久慈郡	55 967	54 770	△ 14	13 681	大穂町	11 253	11 733	4	2 795
金砂郷村	11 310	11 112	△ 23	2 720	真壁郡	74 377	76 164	51	17 398
水府村	8 284	8 096	△ 4	1 997	関城町	14 845	15 317	20	3 406
里美村	5 507	5 339	△ 5	1 344	明野町	16 521	17 101	4	3 926
大子町	30 866	30 223	18	7 620	真壁町	20 685	20 816	24	4 929
多賀郡	10 127	10 689	△ 1	2 747	大和村	7 319	7 363	△ 8	1 586
十王町	10 127	10 689	△ 1	2 747	協和町	15 007	15 567	11	3 552
鹿島郡	157 297	161 481	200	38 693	結城郡	49 506	50 453	35	11 045
旭村	10 217	10 269	△ 13	2 225	八千代町	22 160	22 335	△ 6	4 678
銚田町	26 643	26 877	34	6 472	千代川村	8 126	8 301	20	1 854
大洋村	9 517	9 643	△ 2	2 188	石下町	19 220	19 817	21	4 513
大野村	11 104	11 947	26	2 777	猿島郡	100 055	104 164	174	22 941
鹿島町	37 126	37 717	△ 9	9 066	総和町	32 074	33 956	35	7 817
神栖町	29 974	31 440	94	8 030	五霞村	8 636	8 642	5	1 730
波崎町	32 716	33 588	70	7 935	三和町	20 842	22 338	86	4 910
行方郡	69 983	70 591	50	16 571	猿島町	14 156	14 408	16	2 861
麻生町	18 194	18 094	△ 10	4 109	境町	24 347	24 820	32	5 623
牛堀町	6 837	6 774	4	1 629	北相馬郡	44 416	48 051	88	11 640
沼来町	20 670	21 251	27	5 366	守谷町	14 505	15 871	33	3 807
北浦村	10 921	11 039	7	2 388	藤代町	20 407	22 230	49	5 514
玉造町	13 361	13 433	22	3 079	利根町	9 504	9 950	6	2 319

(注) (1) 50年10月1日については国勢調査の確定数である。
(2) 「人口増加」は住民基本台帳に基づいたもので、外国人は含まない。

資料：県統計課

3 労働

3-1 産業別賃金指数

(昭和50年=100)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸 売 小 売 業	金 融 保 険 業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 熱 供 給 業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
昭和49年	86.7	87.0	88.3	88.1	90.4	77.8	83.4	81.6	r 87.2
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	113.2	112.8	105.6	112.6	114.8	121.5	113.8	109.0	114.0
51.12	263.9	257.1	220.6	252.5	260.4	362.1	257.5	271.2	284.3
52.1	89.6	89.2	82.2	89.6	92.8	86.5	91.2	83.8	90.3
2	88.8	89.3	82.4	89.2	96.7	83.3	92.3	84.2	86.6
3	95.4	90.8	81.2	88.8	94.2	92.1	104.1	92.7	110.2
4	92.6	92.0	94.9	91.7	95.5	88.7	94.2	84.6	93.9
5	95.0	96.6	82.8	98.7	96.0	88.6	95.3	96.6	88.7
6	196.6	190.9	88.5	189.2	166.7	311.0	200.5	253.2	213.0
7	141.0	153.6	140.2	158.9	173.0	125.0	144.7	88.8	98.0
8	95.2	97.0	92.6	96.0	106.4	89.2	104.7	88.1	88.1
9	96.4	98.4	87.5	98.9	111.7	89.2	98.6	88.7	88.5
10	96.9	98.0	88.0	97.7	103.7	89.8	106.8	89.7	91.9
11	98.0	99.0	93.5	99.8	103.0	93.8	100.3	88.9	93.4

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

3-2 産業別雇用指数

(昭和50年=100)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸 売 小 売 業	金 融 保 険 業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 熱 供 給 業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
昭和49年	100.1	102.5	112.2	103.4	101.1	97.0	96.1	92.1	89.1
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	102.3	101.5	91.5	101.0	111.2	93.3	104.0	103.3	106.1
51.12	102.4	101.5	82.8	102.0	113.3	85.5	103.2	103.4	106.3
52.1	102.4	101.7	94.5	101.3	111.5	84.2	102.3	103.3	105.6
2	102.2	101.4	94.7	101.6	110.4	83.9	102.2	102.8	106.1
3	102.2	101.3	94.7	101.4	110.9	83.3	102.9	102.6	106.2
4	103.7	102.8	92.6	102.6	115.0	87.0	104.4	108.1	107.5
5	103.1	101.9	90.4	101.4	115.2	86.5	104.6	108.4	108.5
6	103.2	102.0	93.3	101.6	114.3	86.8	104.0	105.5	108.5
7	103.6	102.1	98.4	101.5	113.8	86.7	103.9	105.8	110.1
8	103.4	101.9	98.1	101.2	113.0	87.1	104.1	105.3	110.3
9	103.6	102.1	98.3	101.2	116.8	87.2	103.4	103.8	110.2
10	103.3	101.7	96.2	101.1	115.7	87.1	102.7	103.8	110.5
11	103.5	102.0	99.5	101.2	115.6	86.2	102.6	103.6	110.5

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

3-3 労働時間

(単位：1人1カ月当たり、時間)

年月	調査産業計		建設業	製造業	卸売 小売業	金融 保険業	運輸 通信業	電気・ガス 水道 熱供給業	サービス業	所定内 労働時間
	サービス 業を含む	サービス 業を除く								調査産業計 (サービス 業を含む)
昭和49年	176.4	177.5	198.4	173.3	183.3	156.1	196.8	170.2	176.4	163.7
50	171.5	171.0	189.9	166.3	182.3	158.0	185.0	167.6	173.7	161.9
51	179.6	178.9	187.9	177.2	174.5	164.1	195.8	167.3	182.5	165.9
51.12	182.6	183.2	201.7	179.7	178.3	175.9	205.9	171.3	180.4	167.1
52.1	168.1	166.9	187.6	162.6	168.3	155.5	187.6	160.9	173.7	155.7
2	179.5	179.3	194.0	178.9	172.0	151.1	194.5	156.2	180.7	165.0
3	177.2	175.4	191.3	172.5	162.2	171.3	199.8	173.3	184.9	162.4
4	186.9	186.9	191.7	186.0	179.1	175.5	204.5	170.1	186.5	172.5
5	173.5	171.4	179.6	169.0	164.8	164.1	193.8	161.4	181.7	160.2
6	188.8	188.3	204.5	186.0	179.6	182.6	207.4	176.3	190.7	174.3
7	185.7	185.7	199.0	184.4	177.0	171.3	202.5	173.0	185.8	171.1
8	174.4	172.0	188.1	167.9	172.5	166.5	191.9	175.8	184.3	161.7
9	181.3	181.7	192.9	182.0	171.8	157.5	193.9	163.3	179.8	166.8
10	180.1	179.6	189.3	178.9	167.4	164.5	197.7	166.7	182.2	165.4
11	183.3	183.1	198.4	182.7	172.6	161.7	198.6	163.7	183.9	167.6

(注) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

3-4 職業紹介

(単位：件)

年月	一般職業紹介 (パートタイムを含まない)						
	新規求人数 (A)	新規求職 申込件数(B)	有効求人数 (月平均) (C)	有効求職者数 (月平均) (D)	就職件数	新規求人倍率 (A/B)	有効求人倍率 (C/D)
昭和49年度	70 871	51 939	16 958	11 601	21 859	1.37	1.46
50	62 967	50 505	13 700	16 924	17 544	1.25	0.81
51	69 458	51 684	17 109	16 325	17 732	1.34	1.04
51.12	3 351	3 205	14 514	14 452	1 167	1.05	1.00
52.1	6 433	5 106	15 703	15 607	1 583	1.26	1.01
2	4 847	4 585	15 583	15 953	1 528	1.06	0.98
3	5 420	4 969	16 113	16 189	1 658	1.09	1.00
4	5 022	5 393	16 439	16 790	1 457	0.93	0.98
5	4 786	4 928	16 407	17 344	1 456	0.97	0.95
6	4 520	4 464	15 298	17 348	1 441	1.01	0.88
7	4 242	4 184	14 324	16 755	1 387	1.01	0.85
8	6 293	4 654	15 223	17 154	1 349	1.35	0.89
9	6 555	4 828	17 446	17 941	1 501	1.36	0.97
10	6 282	4 751	16 880	17 787	1 534	1.32	0.95
11	4 434	4 021	15 444	17 427	1 323	1.10	0.89

(注) 学卒・日雇・パートタイムは除く。

資料：県職業安定課

4 農 業

農産物の平均販売価格

(単位：円)

年 月	うるち米 (自由売) (玄米60kg)	生 乳 (飲用10kg)	鶏 卵 (10kg)	豚 肉 (生体10kg)	肉 用 牛 (去勢肥育) (和牛・壮令)	乳 用 牛 (めす、生後 6ヵ月) (ホルスタイン 純種)	プロイラー (生体10kg)
昭和49年12月末	13 522	885	3 340	4 101	9 000	69 000	2 917
50	13 667	936	2 765	4 780	10 450	101 667	3 517
51	16 133	1 046	2 890	3 218	10 000	83 333	3 183
51.12	16 133	1 046	2 890	3 218	10 000	83 333	3 183
52.1	16 200	1 016	2 895	3 302	10 000	83 333	3 167
2	16 200	1 021	3 195	3 819	10 100	76 667	3 167
3	16 200	1 024	3 320	4 162	10 150	76 667	3 217
4	15 467	1 027	2 640	4 155	11 000	76 667	3 267
5	15 467	1 038	2 460	4 128	9 500	83 333	3 250
6	16 100	1 059	2 470	4 479	11 280	83 333	3 100
7	17 667	1 055	2 450	4 385	11 280	83 333	3 067
8	17 250	1 052	2 765	4 336	11 280	83 333	2 933
9	19 100	1 052	2 805	4 457	11 280	90 000	3 017
10	19 000	1 058	2 915	4 140	12 417	90 000	3 000
11	19 167	1 062	2 815	4 081	12 417	90 000	2 883

年 月	だいこん (1kg)	にんじん (1kg)	はくさい (1kg)	キャベツ (1kg)	な す (1kg)	きゅうり (1kg)	ピーマン (1kg)
昭和49年12月末	26	53	25	30	373	315	329
50	40	69	23	105	423	358	306
51	27	30	16	32	409	370	321
51.12	27	30	16	32	409	370	321
52.1	34	36	28	74	373	254	341
2	46	38	37	122	367	288	527
3	44	33	34	91	352	234	338
4	61	44	49	85	346	197	273
5	42	115	35	34	342	124	198
6	31	150	41	36	241	120	151
7	39	136	35	29	79	56	127
8	71	127	84	62	107	131	99
9	86	86	86	125	94	109	132
10	42	67	32	72	72	116	159
11	24	39	12	32	149	178	100

(注) (1) 価格は、それぞれの代表生産地における価格である。
(2) 野菜は、水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。

資料：農林省茨城統計情報事務所 (TEL0292-31-2266)
水戸市公設地方卸売市場

5 鋳 工 業

鋳工業生産指数

(昭和45年=100)

年 月	産業総合	公益事業	鋳工業	鋳業	製造工業	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	機械工業	一般機械	電気機械
	品目数109	2	107	6	101	9	5	5	41	7	26
	ウェイト 10 000.0	228.2	9 771.8	144.1	9 627.7	567.6	1 201.1	355.3	4 523.4	1 161.7	2 938.3
昭和49年	202.8	2 143.7	157.5	45.7	159.2	352.2	124.4	200.4	124.3	168.8	111.8
50	201.2	2 685.8	143.2	55.0	144.5	309.6	98.4	200.8	116.7	189.8	95.8
51	225.6	2 558.4	171.1	50.0	172.9	361.2	132.7	205.8	156.7	284.8	119.5
51.11	224.7	2 727.8	166.2	53.7	167.9	395.0	114.1	222.0	146.6	206.0	134.3
12	235.9	2 794.1	176.2	54.7	178.0	400.2	135.7	239.0	148.6	239.3	125.8
52.1	213.7	2 832.2	152.6	51.4	154.1	372.7	128.6	472.9	121.2	169.0	113.7
2	230.8	3 218.7	161.0	57.6	162.5	327.5	133.0	485.0	127.9	186.7	115.0
3	250.7	3 274.2	180.1	67.6	181.8	347.0	147.1	546.8	141.3	198.1	127.0
4	239.5	2 726.8	181.4	50.0	183.4	334.1	145.2	486.0	144.5	219.7	127.2
5	231.9	2 634.4	175.8	52.9	177.6	324.1	131.5	433.5	144.4	244.3	118.2
6	239.7	2 771.2	180.6	46.7	182.6	323.4	137.4	437.5	157.4	255.5	132.7
7	251.7	2 924.2	189.3	56.4	191.3	323.5	143.6	431.9	156.5	259.8	128.6
8	242.4	3 073.0	176.3	57.2	178.1	315.1	136.8	397.9	135.5	234.2	107.8
9	244.1	2 729.8	186.0	57.5	188.0	319.9	138.1	408.6	172.6	320.6	128.2
10	229.9	2664.7	173.1	55.2	174.9	306.8	145.8	476.6	141.1	220.8	123.1

年 月	鋳 工 業									
	製 造 工 業									
	機 械 工 業		窯 業 土 製 品 工 業	化学工業	石 油 石 炭 製 品 工 業	パ ル プ 紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	繊 維 工 業	木 木 製 材 品 業	食 料 た ば こ 業	そ の 他 工 業
	輸 送 機 械	精 密 機 械								
	品目数5	3	2	18	2	2	3	1	7	6
	ウェイト 273.7	149.7	627.6	157.1	168.7	162.2	130.4	246.9	779.0	708.4
昭和49年	114.3	41.0	109.8	598.7	248.0	145.4	94.5	93.5	248.8	130.1
50	85.0	16.9	107.2	567.9	240.9	153.3	87.6	91.9	235.3	87.4
51	84.7	25.6	116.4	648.0	241.8	202.5	83.4	119.9	226.9	73.8
51.11	83.6	42.6	124.1	656.4	260.3	195.7	75.2	110.8	201.3	88.5
12	70.8	36.4	135.7	658.8	284.2	191.6	77.8	127.1	246.7	91.5
52.1	46.5	33.7	73.9	690.8	252.0	185.9	55.3	121.3	108.4	73.3
2	69.1	32.4	125.8	680.3	253.9	195.1	66.3	118.7	147.2	78.6
3	112.1	35.9	134.5	725.7	260.9	209.8	66.5	99.8	226.8	79.9
4	69.6	37.0	116.1	780.5	255.2	198.5	63.0	94.9	272.5	85.5
5	66.3	27.1	114.4	743.4	253.4	212.4	61.4	120.6	256.0	81.5
6	70.0	38.5	120.3	137.0	140.5	218.8	69.5	132.0	336.0	116.6
7	82.5	38.4	132.3	649.2	210.0	210.7	66.6	87.1	343.1	101.8
8	69.8	31.7	114.3	736.6	260.2	230.1	62.3	95.5	338.9	74.6
9	95.0	36.9	118.5	701.1	254.8	201.6	63.3	100.6	239.6	79.5
10	51.5	39.5	121.6	709.4	238.2	198.5	68.0	85.8	223.6	87.7

資料：県統計課

6 建築

建築主別建築着工

(単位：百万円、千㎡)

年 月	総 数		建 築 主					
			官 公 庁		会 社 其 他 の 法 人		個 人	
	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額
昭和49年	5 639	358 695	811	74 969	1 864	114 639	2 964	169 088
50	5 360	400 541	961	118 801	1 391	96 043	3 007	185 696
51	5 520	389 268	802	84 178	1 443	99 371	3 275	205 719
51.8	457	30 969	50	4 813	123	8 268	284	17 888
9	439	31 678	85	8 360	121	8 566	233	14 752
10	551	37 361	71	5 783	230	16 502	250	15 076
11	395	29 903	60	6 023	104	8 975	231	14 905
12	497	35 247	63	6 149	98	6 869	336	22 229
52.1	386	31 828	53	7 317	114	9 846	219	14 666
2	487	34 461	91	8 965	137	8 733	259	16 763
3	456	34 398	74	7 576	119	9 619	263	17 203
4	617	48 724	83	14 505	171	10 584	363	23 634
5	491	40 399	121	15 995	113	7 885	257	16 519
6	410	31 761	73	7 778	120	9 306	217	14 676
7	460	30 548	23	2 007	180	10 907	256	17 634

(注) 官公庁とは、国、都道府県、市町村を加えたものである。

資料：県建築指導課

7 電 力

産業別電力消費量

(単位：千kWh)

年度・月	総 数	農 林 ・ 水 産 養 殖 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	運 輸 通 信 業	電 気 ・ ガ ス 水 道 業	そ の 他 の 産 業
昭和49年度	3 149 395	5 755	49 734	34 524	2 717 440	140 085	98 370	103 487
50	3 730 583	4 956	48 650	41 317	3 253 192	149 494	104 476	128 498
51	4 454 759	5 715	51 163	37 280	3 902 439	154 868	109 289	194 005
51.12	369 319	485	4 397	3 404	320 385	14 007	9 114	17 527
52.1	348 824	586	4 470	3 296	298 969	14 221	9 655	17 627
2	381 729	608	4 228	3 299	331 615	12 805	9 065	20 109
3	385 586	573	4 366	3 249	336 047	13 547	9 314	18 490
4	408 663	592	4 251	3 067	361 975	11 836	9 556	17 386
5	407 974	518	4 176	2 199	359 514	12 043	9 414	20 110
6	372 668	431	4 198	1 985	324 899	11 659	8 898	20 598
7	385 800	507	4 291	2 143	335 722	12 757	9 711	20 669
8	373 824	542	4 387	2 187	322 510	13 434	10 269	20 495
9	386 947	535	4 312	2 072	337 604	12 489	9 939	19 996
10	415 079	527	4 504	2 060	366 051	12 875	9 696	19 366
11	398 072	482	4 341	2 098	346 720	12 759	9 595	22 077

(注) 数値は東京電力茨城支店の50KW以上の電力販売量である。
なお、東電以外の自家発電は含まれない。

資料：東京電力茨城支店 (TEL0292-25-1511)

8 金 融

金融機関別実質預金・貸出残高

(単位：億円)

年 月	総 額		銀 行		相 互 銀 行		信 用 金 庫		信 用 組 合	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
昭和49年末	17 392	10 705	9 829	5 624	1 934	1 396	1 703	1 264	1 283	934
50	20 715	12 177	11 745	6 357	2 240	1 614	2 005	1 453	1 488	1 076
51	23 959	13 746	13 588	7 096	2 535	1 829	2 333	1 704	1 727	1 259
51.12	23 959	13 746	13 588	7 096	2 535	1 829	2 333	1 704	1 727	1 259
52.1	23 300	13 606	13 250	7 056	2 449	1 797	2 296	1 678	1 671	1 233
2	23 183	13 779	13 209	7 133	2 439	1 820	2 289	1 703	1 667	1 254
3	24 033	14 038	13 985	7 234	2 505	1 861	2 302	1 735	1 704	1 288
4	23 757	14 067	13 744	7 299	2 482	1 831	2 315	1 726	1 693	1 273
5	24 166	13 925	14 104	7 112	2 507	1 843	2 350	1 734	1 704	1 267
6	24 844	14 185	14 444	7 299	2 569	1 868	2 399	1 751	1 732	1 278
7	25 070	14 502	14 552	7 505	2 595	1 912	2 435	1 775	1 756	1 289
8	25 068	14 509	14 597	7 475	2 590	1 906	2 444	1 789	1 747	1 294
9	25 865	14 864	15 117	7 712	2 679	1 939	2 478	1 818	1 799	1 323
10	25 775	15 015	14 820	7 879	2 639	1 915	2 493	1 824	1 777	1 307
11	26 368	15 059	15 241	7 894	2 704	1 936	2 516	1 849	1 794	1 318

三 月	労 金		商 工 中 金		農 協		漁 協		郵 便 貯 金 (総額には含まない)
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	
昭和49年末	228	187	71	221	2 308	1 003	37	77	453
50	296	213	88	286	2 808	1 099	45	79	449
51	387	254	99	347	3 233	1 181	57	78	540
51.12	387	254	99	347	3 233	1 181	57	78	540
52.1	383	253	100	345	3 099	1 166	54	78	299
2	383	259	110	347	3 031	1 182	56	82	236
3	394	269	101	346	2 970	1 212	73	93	299
4	390	275	106	343	2 967	1 235	60	84	327
5	391	280	106	346	2 940	1 262	64	81	341
6	424	282	111	358	3 100	1 267	66	81	349
7	438	290	102	366	3 128	1 283	64	82	333
8	435	294	104	366	3 089	1 300	61	85	274
9	437	301	104	371	3 184	1 313	67	87	335
10	440	312	112	376	3 426	1 312	68	89	274
11	445	317	118	392	3 480	1 268	70	84	...

資料：日本銀行水戸事務所 (TEL0292-24-2734)
水戸郵便局調査課 (TEL0292-21-2297)

9 物 価

水戸市の消費者物価指数

(昭和50年=100)

年 月	総 合	対 前 月 上 昇 率 (%)	対 前 年 (同 月) 上 昇 率 (%)	食 料			住 居	光 熱	被 服
				う ち 主 食	副 食 品				
昭和49年	89.5	—	25.8	88.4	84.8	91.4	91.3	85.8	97.0
50	100.0	—	11.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51	109.1	—	9.1	109.1	111.5	109.0	106.1	106.3	109.1
51.12	112.7	0.6	9.4	109.8	118.5	107.0	109.0	113.3	113.7
52.1	115.4	2.4	9.5	116.1	118.6	113.9	109.3	113.3	112.7
2	115.4	0.0	9.1	115.8	118.6	117.3	109.6	113.3	112.2
3	115.6	0.2	9.2	115.5	118.7	116.0	109.7	113.3	114.5
4	118.1	2.2	9.8	117.8	117.7	120.0	112.5	113.3	116.3
5	118.7	0.5	9.4	115.8	118.1	115.1	112.7	113.3	122.9
6	118.0	△ 0.6	7.8	113.2	118.0	113.0	113.2	113.3	123.7
7	118.3	0.3	7.9	113.4	118.0	112.3	113.3	113.3	126.0
8	118.4	0.1	9.6	115.4	118.0	115.2	113.6	113.3	119.0
9	120.4	1.7	8.0	120.5	123.8	122.7	114.7	113.3	118.9
10	122.3	1.6	8.7	125.3	124.5	117.9	114.6	113.3	119.8
11	119.4	△ 2.4	6.6	117.8	124.5	113.5	114.7	113.0	119.7

年 月	雑 費	う ち 保 健 医 療	理 容 衛 生	交 通 通 信	自 動 車 等 関 係 費	教 育	文 房 具	教 養 娯 楽	
昭和49年	87.1	88.4	90.1	84.9	91.0	81.2	95.5	85.8	
50	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
51	110.2	105.1	111.3	110.3	102.9	120.6	103.7	107.9	
51.12	117.0	107.2	116.3	144.9	102.1	126.1	104.4	109.9	
52.1	117.6	107.2	122.9	144.9	102.4	126.1	108.4	109.6	
2	118.2	108.6	122.9	144.9	102.4	126.1	111.9	110.7	
3	118.2	108.6	122.8	144.9	102.5	126.1	111.9	110.8	
4	121.3	108.6	124.5	153.1	102.8	141.4	113.9	111.7	
5	122.9	108.8	124.7	154.3	102.8	143.8	113.9	114.8	
6	123.4	108.8	124.6	155.5	103.1	143.8	113.9	115.7	
7	123.2	108.8	124.6	155.5	103.1	143.8	113.9	115.0	
8	123.7	108.8	125.5	155.5	103.2	143.8	113.9	116.0	
9	123.4	109.3	125.6	155.5	103.4	143.8	113.0	115.0	
10	123.2	109.3	125.8	155.2	103.6	143.8	111.8	114.4	
11	123.3	109.3	125.6	155.7	103.6	143.8	111.8	114.6	

資料：県統計課

10 経 済

年 月	財政資金(百万円)		銀行券受払高(百万円)		手 形 交 換 高 (千枚)	不渡手形 (枚)	信用保証(件)		証券取引高(百万円)	
	取 入	支 払	受 入	払 渡			保証承諾	代位弁済	株 式	公 社 債
昭和49年	356 807	421 391	364 271	400 205	1 537	10 273	18 923	207	169 051	81 326
50	399 675	514 349	406 359	446 955	1 618	10 724	22 466	317	178 379	69 862
51	440 290	598 922	438 614	489 408	2 028	14 089	23 323	451	261 852	133 834
51.11	38 608	82 857	26 306	35 674	218	2 103	2 165	49	22 926	18 672
12	48 193	55 325	55 426	99 595	253	1 701	3 395	33	33 656	9 945
52.1	41 680	22 254	63 450	25 897	182	1 335	1 113	18	27 671	11 730
2	31 555	22 740	32 636	38 413	193	1 561	1 563	58	20 678	19 765
3	53 421	81 770	33 698	40 117	214	1 741	1 912	59	19 251	19 333
4	37 532	71 274	33 806	33 783	208	1 723	1 633	71	18 196	11 877
5	51 716	47 751	36 640	33 270	211	1 751	1 739	30	16 594	31 317
6	42 590	81 891	43 099	57 485	212	1 507	1 942	33	15 528	25 984
7	43 079	34 950	35 813	32 377	203	1 352	1 979	52	19 403	29 798
8	44 645	24 265	42 799	33 450	230	1 963	1 750	29	32 697	22 526
9	45 220	76 328	29 529	32 118	205	1 532	1 675	53	23 553	22 573
10	35 577	60 476	29 124	37 613	210	1 573	1 774	41	22 283	17 423

資料：日本銀行水戸事務所（TEL0292-24-2734）

11 消費生活相談

(単位：件)

年 月	受付件数	内 容 別 延 件 数									
		安 全 衛 生	品 質 機 能	価 格 格 金	表 示・広 告 包	販 売 方 法 契 約 サ ー ビ ス	ク リ ー ニ ン グ	買 物	そ の 他		
昭和49年	2 354	538	481	168	138	205	33	41	750		
50	2 944	694	790	122	159	314	61	68	922		
51	2 441	763	660	113	91	350	83	38	477		
51.12	163	54	32	10	3	32	4	1	27		
52.1	196	46	62	9	10	41	4	2	22		
2	281	83	60	10	14	34	10	—	69		
3	205	66	51	6	3	35	8	2	34		
4	195	56	42	10	6	26	9	—	26		
5	224	53	72	11	8	64	8	3	72		
6	336	105	99	14	24	57	7	2	79		
7	249	93	87	6	23	38	9	4	45		
8	280	118	114	10	19	41	9	7	42		
9	293	104	112	20	24	56	8	6	47		
10	257	100	98	6	22	40	3	3	46		
11	311	87	119	17	35	52	9	5	68		

資料：茨城県消費生活センター（TEL0292-24-4722）

12 家 計

12-1 家計主要指標

(単位：円, %)

年 月	勤 勞 者 世 帯								全 世 帯		消 費 者 物 価 指 数
	実 収 入	(1) 可 処 分 所 得	消 費 支 出	(2) 黒 字	貯 蓄 純 増	(3) 平 均 消 費 性 向	(4) 実 質 実 収 入 指 数	(4) 実 質 消 費 支 出 指 数	消 費 支 出	(5) エ ン ゲ ル 係 数	
水 戸 市											
昭和49年	205 792	187 865	142 806	45 059	27 634	76.0	106.5	100.9	132 200	30.5	89.5
50	215 932	197 019	158 185	38 834	27 159	80.3	100.0	100.0	152 207	30.8	100.0
51	261 162	235 528	177 776	57 752	42 802	75.5	110.9	103.0	178 217	29.1	109.1
51.10	218 595	195 547	179 676	15 871	360	91.9	90.0	101.0	173 169	30.3	112.5
11	249 881	223 633	186 415	37 218	21 121	83.4	103.3	105.2	181 156	27.9	112.0
12	650 250	596 293	306 153	290 140	210 322	51.3	267.2	171.7	291 111	25.2	112.7
52.1	217 046	194 200	203 149	△ 8 948	4 737	104.6	87.1	111.3	196 107	24.9	115.4
2	214 854	192 772	167 418	25 354	10 295	86.8	86.2	91.7	159 790	31.6	115.4
3	256 783	229 797	219 020	10 777	1 501	95.3	102.9	119.8	195 621	27.5	115.6
4	203 398	182 145	180 177	1 969	△12 741	98.9	79.8	96.4	171 851	28.6	118.1
5	203 883	178 752	162 708	16 043	10 575	91.0	79.5	86.7	153 064	32.3	118.7
6	477 132	423 371	203 185	220 186	160 968	48.0	187.3	108.9	183 612	27.5	118.0
7	291 522	256 571	225 345	31 225	10 390	87.8	114.1	120.4	200 336	26.7	118.3
8	227 233	196 345	184 605	11 740	△13 716	94.0	88.9	98.6	172 313	31.6	118.4
9	235 039	204 383	168 825	35 558	26 153	82.6	90.4	88.6	157 567	34.0	120.4
全 国											
昭和49年	205 792	187 825	142 203	45 622	30 211	75.7	97.4	95.7	136 024	32.6	89.4
50	236 152	215 508	166 032	49 476	31 875	77.0	100.0	100.0	157 982	32.0	100.0
51	258 237	233 461	180 662	52 799	32 286	77.4	100.0	99.6	174 790	31.6	109.3
51.10	214 139	192 660	173 493	19 167	9 918	90.1	80.7	93.0	171 531	32.6	112.4
11	216 910	194 195	172 512	21 683	7 459	88.8	81.8	92.4	171 555	31.3	112.4
12	591 338	540 972	280 128	260 844	183 217	51.8	220.4	148.5	261 001	28.9	113.6
52.1	211 091	189 083	172 327	16 756	28 588	91.1	77.9	90.5	171 367	27.6	114.7
2	210 981	189 161	161 845	27 316	2 440	85.6	77.5	84.6	158 263	32.6	115.3
3	253 777	226 994	203 873	23 121	11 564	89.8	92.6	105.9	197 641	29.3	116.0
4	228 921	202 114	195 610	6 504	△13 931	96.8	82.2	99.9	191 271	29.7	117.9
5	225 920	196 907	182 904	14 003	5 360	92.9	80.4	92.6	179 817	32.8	119.0
6	372 658	334 917	194 825	140 092	99 265	58.2	133.3	99.1	185 486	31.1	118.4
7	339 999	306 577	213 336	93 241	71 774	69.6	121.9	93.3	199 155	30.0	118.1
8	252 293	225 729	199 419	26 310	10 960	88.3	90	101.7	192 158	32.0	118.1
9	231 865	206 465	178 596	27 869	11 835	86.5	81.7	89.5	172 419	33.0	120.2

(注) (1) 実収入-非消費支出 (2) 可処分所得-消費支出
 (3) 消費支出÷可処分所得 (4) 当該項目(50年=100)÷消費者物価指数
 (5) 食料費÷消費支出

資料：総理府統計局

12-2 1 月 1 世帯当りの収入（水戸市・勤労者世帯）

（単位：世帯，人，歳，円）

年 月	集 計 世帯数	世 帯 人 員	有 業 人 員	世帯主 の年齢	収 入 総 額	実収入				実収入 以外の 収 入	前 月 からの 繰入金
						勤め先 収 入	事業・ 内 職 収 入	他 の 実収入			
昭和49年	60	3.95	1.45	41.1	315 154	205 792	189 991	5 437	10 364	47 771	61 592
50	63	3.92	1.36	40.5	331 000	215 932	206 190	2 061	7 681	49 367	65 700
51	65	3.62	1.30	41.6	398 315	261 162	243 709	4 056	13 397	64 499	72 653
51.10	66	3.52	1.32	42.2	355 182	218 595	201 913	5 151	11 531	67 878	68 709
11	63	3.70	1.43	41.8	385 343	249 881	226 824	7 019	16 038	66 859	68 602
12	68	3.72	1.38	42.1	817 062	650 250	623 860	8 491	17 900	98 292	68 519
52.1	67	3.73	1.36	41.4	373 016	217 046	197 879	3 231	15 936	65 842	90 127
2	66	3.73	1.33	41.7	344 084	214 854	198 757	7 361	8 737	57 898	71 332
3	66	3.70	1.30	41.7	432 778	256 783	231 088	6 654	19 041	102 856	73 140
4	65	3.62	1.26	40.4	334 239	203 398	190 053	2 185	11 160	73 160	57 681
5	65	3.49	1.22	40.0	314 330	203 883	194 911	2 267	6 705	50 567	59 879
6	63	3.56	1.24	41.4	592 749	477 132	466 311	2 233	8 588	51 017	64 600
7	64	3.55	1.25	41.6	494 118	291 522	279 404	2 658	9 460	112 556	90 040
8	66	3.58	1.29	42.0	401 066	227 233	213 810	4 394	9 030	92 529	81 303
9	67	3.51	1.30	41.6	371 026	235 039	225 152	3 662	6 225	56 438	79 549

（注）集計世帯数，世帯人員，有業人員，世帯主年齢は支出にも該当する。

資料：総理府統計局

12-3 1 月 1 世帯当たりの支出（水戸市・勤労者世帯）

（単位：円）

年 月	実 支 出	消 費 支 出						非消費 支 出	実支出 以外の 支 出	繰越金	現 物 総 額
		計	食料費	住居費	光熱費	被服費	雑 費				
昭和49年	160 734	142 806	41 585	12 951	5 073	15 942	67 255	17 927	89 385	65 036	8 101
50	177 098	158 185	47 170	13 461	6 164	16 473	74 917	18 913	86 349	67 552	7 978
51	203 411	177 776	50 188	17 189	6 243	18 664	85 493	25 634	120 910	73 994	11 720
51.10	202 724	179 676	50 193	21 740	6 054	18 327	83 362	23 048	81 699	70 759	7 944
11	212 663	186 415	50 162	19 995	6 481	19 427	90 351	26 248	93 982	78 698	11 980
12	363 310	306 153	71 732	40 590	9 835	38 210	145 786	57 157	364 231	89 521	25 499
52.1	225 995	203 149	48 237	11 670	9 544	18 820	114 877	22 846	79 308	67 713	16 540
2	189 500	167 418	50 440	14 419	10 565	14 014	77 980	22 082	78 546	76 037	5 713
3	246 006	219 020	55 327	16 928	9 445	20 345	116 975	26 986	124 426	62 346	6 374
4	201 429	180 177	51 554	13 663	7 476	14 538	92 945	21 253	68 996	63 814	7 211
5	187 840	162 708	49 916	16 125	6 222	17 331	73 114	25 131	68 260	58 230	6 212
6	256 946	203 185	52 512	19 895	6 315	20 591	103 872	53 761	242 225	93 578	8 468
7	260 297	225 345	54 837	30 706	5 291	19 314	115 198	34 951	152 182	81 639	13 716
8	215 493	184 605	53 495	15 032	5 199	14 975	95 905	30 888	109 024	76 549	11 927
9	199 481	168 825	52 923	15 597	4 905	16 517	78 883	30 656	91 748	79 797	8 138

資料：総理府統計局

13 レジャー

(単位：円、件)

年 月	勤 労 者 世 帯 (水戸市)		旅 券 交 付 件 数 (観光訪問・その他個人的目的)	旅 行	
	外 食 費	教 養 娛 楽 費 (印刷物・聴視観覧料・旅行費等)		国 内 (総合旅行・パック)	外 国 (パック)
昭和49年	4 438	12 568	16 390	—	—
50	5 334	13 475	16 588	—	—
51	r 6 930	r 13 762	21 592	3 232	446
51.10	6 559	13 868	2 217	466	71
11	7 690	12 091	1 450	369	56
12	9 936	25 734	2 146	144	48
52.1	8 813	14 290	2 312	107	23
2	7 236	13 162	2 135	...	32
3	7 089	22 103	2 602	...	62
4	6 240	29 378	2 301	...	44
5	6 366	14 755	2 366	...	73
6	7 936	15 372	2 302	...	20
7	9 149	33 326	2 182
8	7 264	17 828	2 420
9	7 795	9 386

(注) 「外食」「教養娯楽」は、抽出調査によるため、対象は水戸市内の少数世帯に限られている。

資料：総理府統計局、県民福祉課
日本交通公社水戸支店 業務課 (TEL0292-25-5231)

14 保 健 相 談

(単位：世帯、人、回)

保健婦活動状況

年 月	家 庭 訪 問		家 庭 訪 問 以 外 (実施回数)			
	被訪問世帯数	被訪問延人員	健 康 相 談	集 団 検 診 集 団 保 健 指 導	子 防 接 種	衛 生 教 育
昭和49年	80 964	100 424	3 555	4 031	5	2 178
50	87 354	107 835	3 600	3 890	4	2 559
51	p 89 345	p 112 554	p 3 571	p 3 933	p 20	p 2 644
51.7
8
9	20 599	26 393	907	1 316	15	785
10
11
12	22 321	27 474	901	917	3	628
52.1
2
3	21 824	26 599	892	857	—	697
4
5
6	23 486	29 311	875	750	—	603

資料：県医務課

15 交通事故

交通事故発生件数

(単位：人、件)

年月	発生件数	死者	負傷者	原因別発生件数								
				安全運転義務違反			酒酔い	最高速度違反	追越し	徐行	一時停止違反	
				わき見不注意	安全速度	ハンドルブレーキ操作不適當						
昭49年	11 850	480	16 114	3 025	1 414	341	1 072	322	482	594	397	
50	11 515	425	15 493	2 929	976	521	934	750	393	606	420	
51	11 040	374	14 877	2 888	847	532	839	631	468	702	416	
51.11	923	22	1 201	262	60	42	88	43	39	70	25	
12	969	35	1 331	298	76	31	83	51	41	56	33	
52.1	837	29	1 174	237	75	62	83	44	26	39	40	
2	720	22	962	220	54	29	58	31	27	51	29	
3	863	33	1 133	270	75	44	69	59	32	43	37	
4	924	35	1 164	299	73	30	93	59	27	63	39	
5	845	27	1 163	230	69	26	67	59	25	71	39	
6	861	29	1 179	240	69	39	66	35	27	78	24	
7	900	24	1 253	265	86	40	68	40	36	75	40	
8	962	26	1 384	270	68	42	47	40	28	76	41	
9	824	20	1 107	248	81	24	59	55	29	64	25	
10	866	40	1 154	223	72	29	66	44	23	51	28	

(注) 原因別発生件数はうち書きであるため、その計は発生件数と一致しない。

資料：県警察本部交通企画課

16 交通事故保障相談

自動車保険請求相談件数

(単位：件)

年月	総数			自賠			保障			任意		
	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他
昭和49年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50	502	300	235	443	274	198	19	4	6	9	3	—
51	536	286	334	442	251	284	40	4	18	10	8	8
51.12	41	42	27	28	32	23	4	1	1	2	2	—
52.1	43	21	37	32	16	30	4	—	2	2	1	—
2	46	25	35	39	23	28	5	—	1	1	2	—
3	41	28	41	39	27	36	2	—	3	—	—	—
4	46	17	37	37	16	30	4	1	1	—	—	1
5	54	29	36	40	25	28	5	1	2	2	1	—
6	48	14	42	34	13	36	2	—	3	—	—	2
7	38	19	51	34	18	42	2	—	4	—	—	3
8	44	22	45	33	19	37	2	—	4	2	—	—
9	35	23	57	30	20	51	1	—	2	1	—	1
10	44	19	46	34	16	38	1	—	1	1	—	—
11	52	25	41	42	24	35	1	—	3	1	1	1

- (1) 自賠、保障、任意のうち書のため総数と合計は合わない。
- (2) 自賠＝自動車損害賠償責任保険、保障＝政府保障事業で、保険によらず直接運輸大臣あて請求するもの(無保険・引き逃げ)、任意＝民間の保険。

資料：日本損害保険協会水戸自動車
保険請求相談センター
(TEL0292-26-1693)

17 犯 罪

(単位：件)

刑法犯罪発生件数

年 月	総 数 (認知件数)	凶 悪 犯	粗 暴 犯	窃 盗	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他
昭和49年	21 544	234	1 510	18 413	612	102	673
50	21 814	351	1 347	18 696	604	147	669
51	21 213	253	1 319	17 843	946	106	746
51.12	2 120	24	155	1 699	83	9	150
52.1	1 443	22	94	1 219	45	5	58
2	1 674	23	105	1 409	76	6	55
3	1 515	25	123	1 203	66	11	87
4	1 656	13	130	1 330	82	16	85
5	1 879	25	103	1 630	46	13	62
6	1 505	19	124	1 222	48	18	74
7	1 486	32	102	1 239	37	10	66
8	1 818	13	127	1 542	75	9	52
9	1 895	17	120	1 640	44	13	61
10	1 910	9	96	1 493	249	11	52
11	1 863	36	98	1 617	65	6	41

資料：県警察本部刑事総務課

18 火 災

(単位：件、世帯、棟、人)

年 月	発生件数	罹災世帯数	罹災人員数	死 傷 者 数		焼損棟数	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
				死 者	負 傷 者		建 物 (㎡)	林 野 (a)	
昭和49年	1 596	641	2 412	35	132	1 066	51 568	27 230	2 380 994
50	1 586	618	2 227	41	208	1 023	46 112	9 792	2 060 975
51	1 593	645	2 368	48	110	1 079	47 092	9 419	2 390 756
51.12	178	75	256	9	8	125	10 862	262	775 959
52.1	202	80	273	5	17	145	8 170	439	449 981
2	270	103	354	10	17	175	7 511	1 360	331 357
3	232	72	269	8	16	131	4 901	687	133 547
4	147	72	230	5	11	122	4 854	483	244 724
5	130	53	175	1	4	97	4 599	3 485	311 528
6	71	35	120	3	9	61	2 736	13	133 407
7	79	44	187	1	13	70	2 950	18	105 441
8	77	39	135	1	11	69	3 111	3	533 345
9	68	24	87	1	9	52	1 463	83	127 914
10	74	32	126	3	5	57	2 268	5	131 184
11	76	36	112	7	4	60	4 140	78	304 602

資料：県消防防災課

【新着資料案内】

この資料は、11月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。

行政資料室 付属庁舎4階 TEL 0292-21-8111 (内線427)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係	総 理 府	業 務 概 要	関 東 海 運 局
昭和50年 国勢調査茨城県の人口	総 理 府	気 象 年 鑑	気 象 庁
" 宮城県の人口	" "	我が国における私設電気通信設備の現状	郵 政 省
" 静岡県の人口	" "	婦 人 労 働 の 実 情	労 働 省
" 新潟県の人口	" "	住民基本台帳に基づく全国人口世帯数表	自 治 省
" 秋田県の人口	" "	鉄 道 要 覧	水 戸 鉄 道 管 理 局
" 埼玉県の人口	" "	水 鉄 の あ ら ま し	" "
" 長崎県の人口	" "	茨 城 県 関 係	
" 青森県の人口	" "	県 税 便 覧	税 務 課
" 我が国の人口集中地区	" "	生 活 福 祉 部 の 概 要	県 民 福 祉 課
国民の観光レクリエーションの実態	内 閣 官 房 審 議 室	国民健康保険・医療福祉の事務事業の概要	医 療 福 祉 課
物 価 レ ポ ー ト ' 7 7	経 済 企 画 庁	国 民 年 金 事 業 年 報	国 民 年 金 課
独 身 勤 労 者 の 消 費 生 活	" "	衛 生 行 政 の 概 要	医 務 課
総 合 社 会 政 策 を 求 め て	" "	地 方 卸 売 市 場 年 報	食 品 流 通 課
O E C D 経 済 見 通 し	" "	野 菜 推 奨 品 種 特 性 表	" "
科 学 技 術 要 覧	科 学 技 術 庁	昭和51年度第3部後期課程研修研究論文集(第1班)	自 治 研 修 所
省資源・省エネルギー・環境保全と材料技術	" "	" (第2班)	" "
毒とその利用のための科学技術	" "	" (第3班)	" "
海洋エレクトロニクス技術・海洋エネルギー利用技術	" "	茨城県における放射能調査(第21報)	公 害 技 術 セ ン タ ー
資源有限時代の科学技術政策	科 学 技 術 会 議 室	茨 城 県 食 品 試 験 所 報 告	食 品 試 験 所
最新商業登記読本(改訂版)	法 務 省	茨城県におけるシタケ栽培技術の実態	林 業 試 験 場
世界経済の課題	外 務 省	業 務 報 告	" "
税務統計からみた民間給与の実態	国 税 庁	公立小中学校長期欠席児童生徒調査報告書	教 育 庁 総 務 課
知 っ て お き た い 食 品 衛 生	厚 生 省	学 校 教 育 指 導 方 針	" 指 導 課
鶏 卵 食 鳥 流 通 統 計	農 林 省	(昭和50～52年)	
牛 乳 乳 製 品 に 関 す る 統 計	" "	茨 城 の 芸 能 史	" 文 化 課
物 財 統 計	" "	県 内 市 町 村 関 係	
農 家 資 金 動 態 統 計	" "	市 民 所 得	石 岡 市 役 所
農家の形態別にみた農家経済	" "	統 計 い し お か	" "
農家の形態別にみた農家経済の概要	" "	市 勢 要 覧 ・ 竜 ヶ 崎	竜 ヶ 崎 市 役 所
農 家 生 計 費 統 計	" "	住 居 表 示 旧 新 (新 旧) 対 照 表	那 珂 湊 市 役 所
工 業 統 計 表 (産 業 編)	通 産 省	郷 土 読 本 ・ 北 茨 城	北 茨 城 市 役 所
" (市 町 村 編)	" "	市 民 所 得 統 計	" "
" (品 目 編)	" "	市 勢 要 覧 ・ と り で	取 手 市 役 所
機 械 類 割 賦 販 売 統 計 調 査 報 告 書	" "	統 計 と り で	" "
雑 貨 統 計 年 報	" "	町 勢 要 覧 ・ う ち は ら	内 原 町 役 場
我が国の情報処理の現状	" "	20 年 の 歩 み ・ ご ぜん や ま	御 前 山 村 役 場
鉦 工 業 指 数 年 報	" "	大 洗 町 の あ ら ま し	大 洗 町 役 場
新 しい 経 営 力 指 標	" "		
経済計画のための多部門計量モデル	経 済 審 議 室		

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
町勢要覧	かしま鹿島町役場	栃木県消費者物価指数年報	栃木県統計課
町勢要覧	牛堀牛堀町役場	群馬県農業基本統計調査結果報告書	群馬県統計課
町勢要覧	江戸崎町役場	県勢グラフ	"
村勢要覧	あずま東村役場	工業統計調査結果報告書	千葉県統計課
村勢要覧	千代田千代田村役場	都民のくらしむき	東京都統計部
村勢要覧	谷和原谷和原村役場	商業統計調査報告	"
町勢要覧	関城関城町役場	統計からみた新潟県のすがた	新潟県統計調査課
村勢要覧	やまと大和村役場	新潟県統計年鑑	"
統計	そうわ三和町役場	工業統計調査結果報告書	石川県統計課
町勢要覧	ささんわ島町役場	工業統計調査結果報告	静岡県統計課
町勢要覧	さし	鳥取県統計年鑑	鳥取県統計課
都道府県関係		香川県の県民所得	香川県統計調査課
毎月勤労統計地方調査結果表	岩手県統計調査課	県民の暮らしと福祉	"
県民所得統計	宮城県計課	市町村民所得	宮崎県統計課
山形県の消費者物価指数	山形県統計課	宮崎県統計年鑑	"



2月1日は茨城県農業基本調査の調査日

この調査は、2年に1度行われることになりました。専業・兼業別農家数、農家人口、経営耕地規模別による農家数など、農業の基本的な項目が調査されます。

結果は「昭和52年茨城県農業基本調査結果報告書」として、本年10月頃公表されます。

担当は、県統計課農林統計係（内線425）です。

一票の自覚がつくるよい社会！
参議院議員補欠選挙

投票日 2月5日

茨城県選挙管理委員会